TEES!

令和 4 年 1 1 月 七塚小学校 校長 宗廣 進一 4 年生担当

今回は、4年生の授業の様子についてお伝えします。

主題名:すべての命をたいせつに 教材名:「ヒキガエルとロバ」

《ねらい》 ヒキガエルをいじめることを楽しんでいたアドルフたちの反省を通して、すべての生き物の命を大切にしようとする態度を養う。

《あらすじ》

学校帰りに 1 匹のヒキガエルに出会ったアドルフとピエールたちは、ヒキガエルが気持ち悪いという理由で、小石をぶつけていじめます。傷ついたヒキガエルは水たまりのくぼみに逃げこんで体を休めます。そこへ、重い荷物を引いて苦しそうなロバがやってきます。そのままだとヒキガエルは荷馬車につぶされて死んでしまうところでしたが、ロバがヒキガエルに気付き、ヒキガエルが助かります。初めにいじめていた子ども達は、ロバの行動を見て、いじめるのをやめるお話です。

児童の考え

教師の問いかけ



男の子はどうして石を投 げるのをやめたのかな。 ロバの行動に感動して,自分たちの行動を反省したからだよ。



生き物の命が大切だと気付い たからだよ。





~児童の心情の変化~

<授業前>		<授業後>	
60		60	
30		100	
100		100	
50		98	
60		100	
100		100	
50		100	
70		90	
78		100	

児童のふり返りより

• 最初はヒキガエルが気持ち悪いと思っていたけれど、苦手でも命は大切にしないといけないと分かった。これからも、生き物の命を大切にしたい。

児童は自分の好きな生き物だけでなく、苦手な生き物の命も大切であると考えていました。蛇やカエルなど、人によっては、どうしても苦手な生き物はいますが、いじめてもいい理由にはならないと考えていました。生き物の命は1つしかないので、好き嫌いで差別することなく、命を大切にしたいという気持ちをもてた児童が多かったです。